

Life newspaper

笑顔の輪が広がるように

桃の節句



やわらかな春の日差しがうれしい季節になりましたが、皆様いかがお過ごでしようか。今冬は記録的暖冬となりました。気象庁の発表によると去年の12月から2月末までの平均気温は東日本で2.2度、西日本で2度上回りいずれも統計を取り始めてから最も高くなつたようです。また、降雪量も北日本と東日本で最も少ない記録を更新したようです。今後日本の気象はどうなつて行くのでしょうか・・・すこし不安になりますね。さて、3月と言えば桃の節句や春の訪れを祝う春分の日、そして卒業や移動、退職など別れと出会いの季節です。お別れは寂しいですが出会いは嬉しく楽しみです。新年度を迎える新しい出会いが沢山あると良いですね。



現在でもその名残りをとどめる代表的な例は「流しひな」や「ひな送り」。これは、紙や土でつくった人形に自分の生年月日を書き、汚れを移して川に流していたことが始まりのようです。この人形を川などに流さず、室内に飾るようになったのがひな祭りの起源で、江戸時代ごろからの風習だと言われています。もともとのひな人形は、手づくりの粗末なもの。四方を縫い縮めた布の中に綿や紙をつめてふくらませ、頭と目鼻をつけた程度のもので、幼児の枕元などに置いておくお守りとされていたようでした。

また、ひな祭りには、親しい方たちを招いて祝い膳を用意することがあります。こういった会食も、かつての「山遊び」や「磯遊び」に、その所以があるようです。

「遊び」といえどもこれらは一種の神事で、三月三日には、野山に出て食事をしたり、海で一日遊ぶ風習が各地になりました。この行事では、農耕にさきだつて村中揃つて季節の花のもとで酒宴を開きます。その季節の花は、もちろん桃の花。現在のように、ひな段に桃の花と白酒、菱餅やひなあられを供えてその前で会食をたのしむという風習も、かつての「山遊び」や「磯遊び」という神事を残した形と言えるでしょう。

三月三日は、江戸時代に定められた五節句のうち、上巳の節句(三月の最初の巳の日)にあたります。ひな祭りは、中国で三月の最初の巳の日に行われた「上巳の祓」と、日本に古くから伝わっていた人形に厄を移して水に流す行事とが一つになったものと言われています。

「上巳の祓」と、日本に古くから伝わっていた人形に厄を移して水に流す行事とが一つになったものと言われています。

誰もが誰かとつながりを持ちながら、当たり前に生活する・・・
そのすべてと一緒に探していく。

サービス提供の標準的な流れ

- 1・居宅介護支援（居宅サービス計画作成等）サービス利用申し込み
- 2・当事業所に関すること居宅介護支援（居宅サービス計画作成）の手順、サービスの内容について大切な説明を行います
- 3・居宅介護支援（居宅サービス計画等）に関する契約締結
- 4・ケアマネージャーがお宅を訪問し、利用者の解決すべき課題を把握します。
- 5・被保険者情報、介護保険認定情報、有効期間等を確認いたします＊利用者は市町村へ【居宅サービス計画作成届出書】の提出を行います。
- 6・提供する居宅サービスに関して、居宅サービス計画の原案を作成します
- 7・計画に沿ってサービスが提供されるようサービス提供事業者等とサービス利用の調整を行います（サービス担当者会議の実施）
- 8・居宅サービスの計画に沿って、毎月のサービス利用予定を作成します
- 9・サービス利用人、家族と毎月連絡を取りサービスの実施状況の把握を行い、サービスの提供事業者と連絡調整を行います
- 10・ご本人、家族と毎月連絡を取りサービスの実施状況の把握を行い、サービスの評価を行います。また、提供されるサービスの実施状況の把握を行います。
- 11・利用者の状態について、定期的な再評価を行います。
- 12・サービス計画の変更が必要、希望される場合は現状の解決すべき課題を再度検証しご本人、ご家族、サービス提供事業者等と連携し、必要に応じて居宅サービス計画の変更を行います。



森脇 あゆみ

主任介護支援専門員

皆さんの困ったことに全力でサポートします。よろしくお願いします。

居宅介護支援事業所

めぐる

ベストショット集



今月のお誕生日

永見 ハルエさん 大正15年3月 5日94歳

鈴木 茂枝さん 昭和 4年3月 1日91歳

上野 絹枝さん 昭和15年3月14日80歳



伊藤 智恵

(いとうともえ) 介護士



3月よりらいふ嫁島の一員として笑顔を振りまいている伊藤さん。「過去に培った経験を生かし利用者様に適した体操を考えたり、利用者様が日々笑顔で過ごしていただけるよう心がけます」と抱負を語ってくれました。

今月のスタッフ紹介